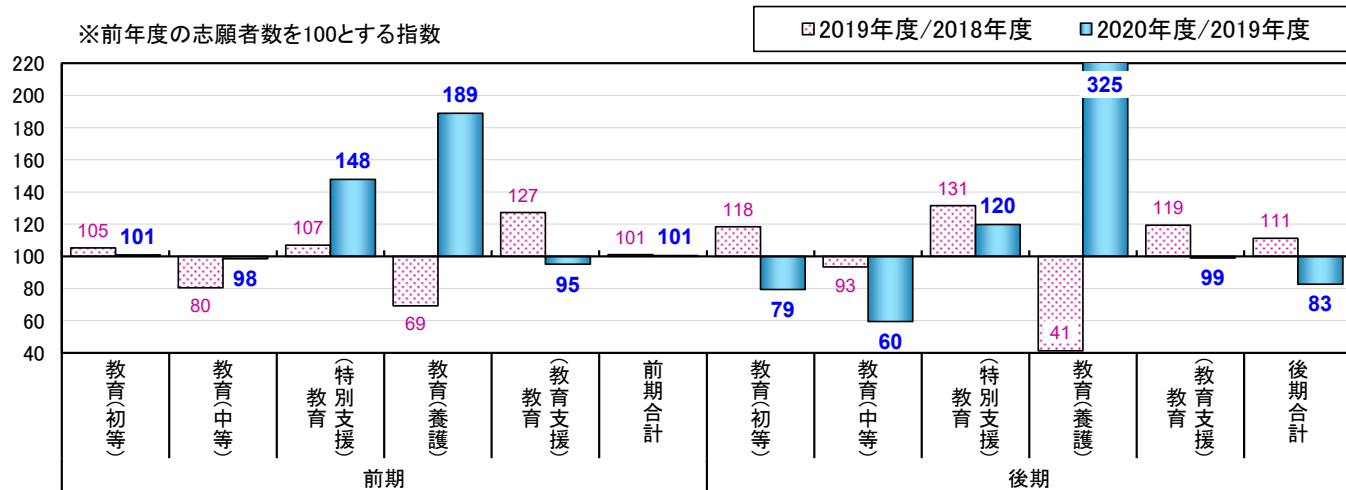


2020 年度入試状況分析【国公立大】

東京学芸大：前期は微増、後期はセンター試験平均点ダウンで大幅減少 前期：+10人 後期：-227人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は10人(101)で2年連続微増。後期は227人(83)の大幅減少、前年度増加の反動と個別試験で教科試験がなく、センター試験の平均点ダウンの影響が大きく、センター試験失敗組に敬遠されたことが影響。

<前期日程>

- 教育(初等)(101)は、微増だが2年連続増加で志願者数は900人に達した。2014年度以降、増加率は小さいが7年間で6回増加しており、安定した人気を保っている。専修別では、16選修中9選修が増加で、特に、(初等/ものづくり)(246)、(初等/国際教育)(179)、(初等/家庭)(174)が70%を超える大幅増加、一方で、(初等/環境教育)(50)、(初等/学校教育)(56)、(初等/理科)(74)は大幅減少。
- 教育(中等)(98)は、前年度大幅減少の反動はなく、微減だった。専攻別では、11専攻中5専攻が増加で、(中等/書道)(157)、(中等/国語)(117)が大幅増加、一方で、(中等/技術)(76)、(中等/理科)(77)、(中等/数学)(78)が大幅減少で、理系の専攻の減少が目立った。
- 教育(特別支援)(148)は、前年度のやや増加に引き続いて、大幅増加。
- 教育(養護)(189)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。
- 教育(教育支援)(95)は、やや減少。2015年度の改組後、前年度の反動による増減が継続。専攻・コース別では、(教育支援/教育支援—生涯学習)(152)、(教育支援/教育支援—多文化共生教育)(147)が大幅増加、一方で、(教育支援/教育支援—生涯スポーツ)(42)、(教育支援/教育支援—情報教育)(69)が大幅減少。

<後期日程>

- 教育(初等)(79)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。専修別では、後期募集を行う9選修中増加は2選修のみで、(初等/学校心理)(117)が大幅増加、一方で減少した7選修中5専修が大幅減少。特に、(初等/情報教育)(39)は前年度大幅増加の反動で60%以上の大幅減少だった。
- 教育(中等)(60)は、大幅減少で2年連続減少。専攻別では、後期募集を行う4専攻全てが30%を超える大幅減少。特に、(中等/理科)(55)は半減近い減少。
- 教育(特別支援)(120)は、2年連続大幅増加。
- 教育(養護)(325)は、前年度の半減を超える減少の反動で、3倍以上の大幅増加。志願倍率は9.8倍までアップ。
- 教育(教育支援)(99)は、前年度並で前年度大幅増加の反動はなかった。後期募集を行う3つの専攻・コースでは、(教育支援/教育支援—情報教育)(132)が大幅増加。一方で、(教育支援/教育支援—多文化共生教育)(89)が10%を超える減少。